

# 肱川かわまちづくり 活動報告

～3年間の挑戦と未来への展望～

都市整備課 地域おこし協力隊  
杉井 太一





## 自己紹介

- 2000/02/04 杉井太一
- 大洲市生まれ大洲市育ち（平小→北中→大洲高）
- カヌー一国体選手
- 大阪芸大写真学科 卒業

# Mission.

肱川かわまちづくり



# しろしたかわみなと

---

うかい、カヌーの乗降場とマルシェ等のイベントスペースを確保する。



しろしたかわみなと（整備前）



しろしたかわみなと（整備後）



## しろしたかわみなと

- 階段を改良し水辺近くに広場を設けました。
- うかい船、カヌー、SUPの乗降場を広げました。
- ナゲを延長することで、水辺に親しみやすくなりました。



# みどりのかわみなと

---

緑地公園の活用を見直す。肱川橋からの眺めが大洲のブランドをつくる。



みどりのかわみなと（整備中）



# 肱川橋詰大階段・眺望広場

---

「かわ」と「まち」を結ぶ出入り口を明確化することで更なる交流を促進する。



肱川橋詰大階段・眺望広場（整備中）

本題へ

# 企画運営

肱川の魅力を発信するイベント

# 実施したイベント一覧（主催・協力等）

- 肱川かわまちづくり社会実験
- 肱川かわびらき
- お花見カヌー
- 婚活カヌーイベント
- おおずプラージュ
- 出張！おおずプラージュ
- Muchu Fes.
- あかんま桜まつりなど

56回



① 肱川かわまちづくり  
社会実験  
R4年8月27日

- マルシェ、SUP大会、サッカー教室、など肱川を楽しめるイベントを開催しました。
- R4年8月に開催し、肱川かわびらきイベント誕生のきっかけとなりました。



## ②R5肱川かわびらき R5年5月28日

- 昨年の実績（社会実験）をもとに、第1回肱川かわびらき（R5.5.28）を開催しました。
- 大洲市教育委員会文化スポーツ化や水辺に咲くやJCIなどと協力し（リレーマラソン、マルシェ、カーン体験、テントサウナ、スラックラインなどを）実施しました。



### ③R6肱川かわびらき R6年5月26日

- 肱川かわまちづくりで整備された「しろしたかわみなど」を活用してイベントを開催しました。
- 会場は肱北・肱南地区に肱川を挟んだ形で設置し、渡し船、マルシェ、カヌー、SUP体験、音楽ライブなどを行いました。



#### ④その他 カヌーイベント

- お花見カヌーイベント (20~30代 12名参加)
- 婚活カヌーイベント (30~40代 10名参加)
- あかんま桜まつりカヌー,SUP体験 (イベント出店)



## ⑤おおずプラージュ

- しろしたかわみなどにパラソル、チェア、クッションなどを設置し、どなたでも無料で肱川に親しめる空間を演出しました。
- 夏季（6～10月）土日祝 10:00～16:00



⑤ Muchu Fes.  
R6年 7月21日

- 屋形船を活用して水上マーケットを行いました。
- 会場はしろしたかわみなどに設置し、カヌー、SUP体験、音楽ライブなどを行いました。

# 地域と連携

交流による、活性化を生む。

# 連携事業の一覧

- かわまち協議会・WS
- (一社) 大洲青年会議所との連携
- 肱川流域会議水中めがね 参加
- 日本三大河川シンポジウム
- うかい宣伝隊
- ツール・ド・肱川

14回



## ①かわまち協議会・WS

- 行政や地域の方と共に、肱川かわまちづくりの整備箇所やその方針について検討を行いました。



## ② (一社) 大洲 青年会議所との連携

- イベントでのテントサウナ運営に協力していただいたり、大洲青年会議所が運営するイベントへの協力を行いました。



### ③ 肱川流域会議 水中めがね 参加

- 毎月の例会やイベントの運営や清掃活動などへ参加しました。

# 日本三大河川

「まるごと吉野川“魅力再発見”講座」

連携講座

# シンポジウムin吉野川

日本三大暴れ川である利根川(坂東太郎)・筑後川(筑紫次郎)・吉野川(四国三郎)では、これまでの相互交流と水環境の研鑽を礎として、さらなる理解と友好を深めるため、平成24年に各河川の活動団体により、「三大河川の兄弟縁組」を締結しています。

今回は、三大河川だけでなく、四国内各地の河川団体もお迎えし、「川を活かした地域振興に係る取組」をテーマにシンポジウムを開催します。

## ④日本河川シンポジウムin吉野川 講演

- 肱川かわまちづくりの取り組み（肱川かわびらき、おおずプラージュなど）が評価され、日本三大河川シンポジウムin吉野川にて講演を行いました。



## ⑤ うかい宣伝隊 参加

- 大洲のうかいをPRするために愛媛県庁や新聞社、テレビ局、ラジオ放送局などを巡り、メディアにて告知を行いました。



## ⑥ ツール・ド・ひじかわ 2024

- ツール・ド・ひじかわ2024の休憩場所を「おおずプラージュ」に設定し、多くのサイクリストがしろしたかわみなどを訪れました。

# 情報発信

メディアでの発信

# 情報発信の一覧

- テレビ (9回)
- 新聞 (5回)
- ラジオ (3回)

17回

# カーヌー

イベント実施や国体への出場

# カヌーについて活動の一覧

- カヌー教室開催
- 国体・国スポへの出場
- 修学旅行生カヌー体験
- 観光客カヌー体験など

55回



## ①カヌー教室

- 夏休みに親子向けにカヌー教室を開催しました。



## ②国体・国スポ 参戦

- 2023鹿児島国体 8位入賞
- 2024佐賀国スポ 7位入賞



### ③修学旅行生 カヌー & SUP体験

- 修学旅行生向けにカヌーとSUPの体験を行いました。



### ③観光客 カヌー & SUP体験

- 観光客向けにカヌーとSUPの体験を行いました。

# その他

その他の活動と学び

## その他について活動の一覧

- 先進地視察【岡崎市】
- EGFビジネスプランコンテスト
- うかいの船頭
- うかい船 出水時の係留

45回



## ①先進地視察 【岡崎市】

- かわまちづくりについて視察を行いました。



## ②EGFビジネスプラン コンテスト

- 肱川あらしを活用したマリンスポーツの聖地かについて発表を行い、三浦工業賞を受賞しました。



### ③ うかいの船頭

- 大洲のうかいの船頭を行いました。



## ④ うかいの船の管理

- 取水時にうかいの船の管理を行いました

# 今後の展望

協力隊を卒業  
今後の活動について

# 3年間考えてきたこと。

- 肱川を楽しめるイベント→肱川かわびらき
- 肱川に親しみを持てる取り組み→おおずプラージュ
- 肱川に人が来ない→肱川なんてみんな興味がないのかもな。
- かわまちづくりの運営組織をつくるプレッシャー
- 運営組織の一員にならなきゃいけない責任感
- 仕事とプライベートの境目がよくわからない生活
- かわまちづくりの過程。3年かけたのに答えが見えない。
- 結果。周囲の期待を裏切り協力隊を卒業&リスタート

# 協力隊を卒業して

- 市内の民間企業に就職し、大洲市のふるさと納税を担当します。
- 今後も大洲市に定住します。

# 協力隊を卒業しても継続すること

- カヌーのプレイヤーとしてジャパンカップ、国スポへの出場
- 大洲カヌークラブ、大洲高校カヌー一部への指導
- 一般市民として肱川かわまちづくりへの参画（イベントの実施等）
- うかいの船頭、出水時における屋形船の管理

協力隊は卒業しますが  
肱川かわまちづくりは  
始まったばかりです

今後は

仕事としては  
肱川かわまちづくりを  
離れますが

一人の大洲市民として  
肱川を盛り上げていきます

**3年間...!!!**  
**お世話になりました!!!**